

2012年度 鹿児島県児童クラブ連絡協議会

ブロック別指導員研修会

(肝属地区)



- 日時 **2012(平成24)年11月24日(土) 18:00受付 18:30~20:30**
- 会場 **鹿屋市「東地区学習センター」**
(鹿屋市新川町114-2 TEL0994-31-1190)
- 主催 **鹿児島県児童クラブ連絡協議会 おおすみ学童保育の会**
- 日程

■開会あいさつ	18:30~18:35
■研修会	18:35~20:00
《講座》「子どもの心に寄り添い、働く親を支える学童保育指導員の仕事」	
講師：永松 範子（ながまつ のりこ）さん / 神奈川県横須賀市指導員	
【講師プロフィール】	
横浜生まれ。横浜で幼稚園教諭として10年間勤務。その後、横須賀YMCAにて18年間、幼児から中学生まで、水泳や体操・幼児教育等の指導にあたる。現在は、横須賀市の民設民営の学童保育所 岩戸大矢部学童クラブで、常勤指導員として勤務。16年目。現在に至る。	
現：横須賀市学童保育指導員会 会長 / 神奈川県学童保育連絡協議会 副会長 / 全国学童保育連絡協議会 副会長	
《学童ほいく誌》購読の呼びかけ	
◆質疑・意見交換	20:00~20:25
閉会	20:25~20:30

子どもの心に寄り添い、働く親を支える学童保育指導員の仕事

永松 範子（神奈川県横須賀市指導員）

1、親の願いと学童保育の役割

共働き、ひとり親家庭の子どもたちの放課後や学校休業日の生活を安全に、継続的に保障しながら、保護者の働く権利を守り、そのことを通して家族の生活を守る。この役割を具体的に一つひとつ果たしていく、それが指導員としての仕事になる。

2、学童保育に通う子どもと生活

- * 子どもが自分の足で帰ってくるところである
- * 年齢も育ちも思いも要求も違う子どもたちである
- * 時間に区切られずに、子どもが自分で自分の過ごし方を決められるところ

3、子どもの心の寄り添うとは・・・

- * 子どもの声に耳を傾け、気持ちを引き出す努力を。
～自分の気持ちを聞いてもらえない子は、人の話を聞くゆとりがない～
- * 自分を大事にしてもらえていない子は、自分を大事にすることができない。
～自分を大事にできない子どもは、他人も大事にできない。～
- * 指導員は、教える姿勢ではなく、心を聴いてくれる存在でいてほしい
～子どもを評価したり、見捨てたりしない指導員という存在～
- * 結果を急ぎ、脅したり物でつったり、精神的にも虐待するような行為は許されない
～丁寧な関わりで、子どもの心に近づく努力を～
- * 集団を優先して、子どもを管理することばかりにとらわれないように
～学童でおきる「面倒な問題」も、子どもにとっては大事な体験の一部～

4、働きながらの子育てを励まし支えるとは

- * 保護者と指導員は、子育てのパートナー
- * 保護者は、どんな思いで働きながら子育てしているのか
～保護者の働く環境は、厳しくなっている～
- * それぞれ一生懸命、子育てをしてきた歴史を尊重する
- * 保護者と指導員の関係性は、子どもの安心にもつながる
～保護者との関わりで大切なのは、やはり保育が基本～

5、指導員同士の関わりで大切にしたいこと

- * 子どもへの対応は、指導員の連携（チームワーク）を大切にして
～子どもの事実を出し合い情報共有しながら、連携して保育にあたる～
- * 記録をとりながら、子どもの実態（日々の様子）を把握すること。
～自分の子どもを捉える視点を、常に振り返り検証する～
- * 子どもを理解するために、プロとして不断の努力を
～積極的に研修を受けたり、書籍や経験者との実践交流から学ぶ～

6、私の体験談から学んだこと

- * 親を預けたくて預けているのか？
 - * 介護施設がどんなところか、利用するまで人は知らない
 - * 母親の言葉で知る介護施設での生活と連絡ノート
 - * なんだか親しみを感じる施設になってきた
 - * デイケアセンターや働くケアワーカーを守りたい
- ※ 学童保育をよりよくしていくこと

■ 質疑応答

●問い合わせ：FAX送信先

鹿児島県児童クラブ連絡協議会事務局（青葉児童クラブ内）

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久 2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

ホームページ：<http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm>



携帯サイトです。
ブックマークに登録を！